

第1回市民活動支援センターのあり方検討委員会 会議概要（会議録）

平成29年7月17日（月）13時～

茂原市役所市民室

1. 開会
2. あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 委員紹介（自己紹介）
5. 事務局説明

「茂原市における市民活動支援センターの設置について」

6. 意見交換・ワークショップ
7. その他

開会	（風戸生活課市民活動支援係長）
あいさつ	（岡本市民部次長兼生活課長）
委嘱状交付	委員を代表して松永徳弥委員に対し、岡本次長より交付
自己紹介	「得意なこと、取り組んでいること」及び「苦手なこと、困っていること」を付せんに書き、貼り付けながら自己紹介（結果については別紙のとおり）
事務局説明	資料に基づき説明（事務局 風戸係長） <ul style="list-style-type: none"><li>・まちづくり条例におけるまちづくりの基本原則について</li><li>・市民活動支援センターの位置づけについて</li><li>・県内における市民活動支援センターの設置状況について</li></ul>
意見交換・ワークショップ	「センターに必要な機能とは？」をテーマに、「必要な備品・設備（ハード面）」、「必要なサービス・スキル（ソフト面）」、「誰と誰を結びつけるか（コーディネート）」の3点についてワークショップ形式で意見交換（結果については別紙のとおり）
質疑応答	（伊藤委員）仮に市民活動支援センターを建設するとなると、その経費について我々は考えなくてもよいということか。 （事務局 風戸係長）経費等については、いただいたご意見を元に、計画等に盛り込んでいくこととなる。 （伊藤委員）現在は、生活課に「市民活動支援のための窓口」を設置して、認定団体や自治会、地域まちづくり協議会を支援しているとのことだが、それらに入っていないが意識を持っている人たちを、まちづくりにどのように加わっていただくか

という視点の方が良いのではないか。

(事務局 風戸係長) グループ討議で、いろいろな段階の人がいるのではないかという視点で話し合っていたが、とても大切な視点であると思う。市民活動支援センターは、認定している団体だけを支援するものではないし、今後は、いろいろな団体をつなぐことが重要になってくると思う。本日、意見交換していただいたようなことを元に、先進自治体へ出向いて視察し、支援センターがどう動いて、どうつなげているかを含めて聞いてまいりたい。

(塚崎委員) 先進自治体として四街道市と富里市へ視察に行くとのことだが、両自治体の市民活動支援センターの特徴を端的に言い表すと、どういうことか。

(事務局 風戸) 四街道市は、センター自体が狭く、会議室等の貸出はしていない。その代わりに、自分たちが外に出向いて行って、地域の人たちをつなげるという活動に積極的に取り組んでいる。富里市は、保健センターを作ったときに、その一角にセンターを設置した。本市のあり方検討委員会は、富里市の事例を参考にしている。そのような理由から、2自治体を選定し、担当の方に内諾をいただいたものである。

(伊藤委員) 基本的には、示されたスケジュール案に沿って進めていくということか。その都度連絡は来ないのか。

(事務局 風戸) 会議については、開催前に通知をお送りするとともに、資料についてもなるべく事前に送付したいと考えている。次回の会議の前には、資料と会議の開催案内を送付する予定である。また、会議録についても、都度作成して送付したい。スケジュールについては、基本的にはお示しした日程で進めてまいりたいと考えているが、第4回の10月の日程については調整中であるため、固まり次第お示ししたい。第3回の視察については、市のバスの予約の都合上、動かすことができないため、なるべくご参加いただきたい。

第1回市民活動支援センターのあり方検討委員会 ワークショップ結果

1. 自己紹介ワークショップ「得意なこと・取り組んでいること」、「苦手なこと・困っていること」(順不同)

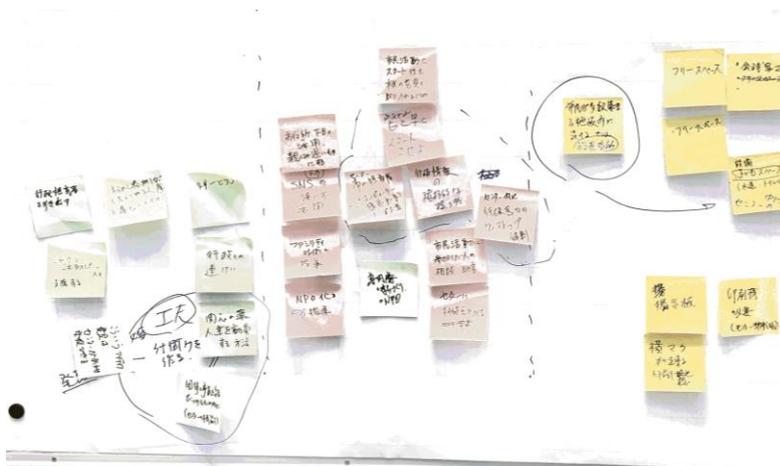
【得意なこと・取り組んでいること】	【苦手なこと・困っていること】
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球温暖化防止出前講座、夏休み体験教室</li> <li>● 認知症予防自主グループ（資料作成ほか）</li> <li>● 地域の良いところ探し</li> <li>● カラオケ</li> <li>● 料理</li> <li>● コミュニティカフェ</li> <li>● ナルクサロン（もばら百歳体操）、介護予防事業</li> <li>● 油絵</li> <li>● 移送</li> <li>● 草取り</li> <li>● 子育て支援</li> <li>● 防災活動（鶴枝小学校避難所開設訓練、災害対策コーディネーター活動）</li> <li>● 自治会活動（自治会長、市自治会長連合会副会長）、ふれあい会、朝の出がけ保存会</li> <li>● 男女共同参画に関心</li> <li>● 0歳児ママ（&amp;妊婦さん）のサークル運営</li> <li>● 野外上映会（夜桜シネマ）の企画</li> <li>● もばら大学（学生まちづくり団体の運営）</li> <li>● 子育て支援</li> <li>● 認知症予防グループ活動</li> <li>● 被災地支援（とりわけ福島の子ども）</li> <li>● 自治会副会長</li> <li>● 子どもの教育（フナの解剖など）</li> <li>● 野外活動（キャンプ・ボーイスカウト）</li> <li>● 調理（男の料理）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多忙である</li> <li>● 行政との付き合い</li> <li>● ひざが痛い</li> <li>● コミュニティカフェに客が来ない</li> <li>● 車の故障</li> <li>● ナルクの会員を増やすのが大変</li> <li>● 股関節を悪くして悩んでいる</li> <li>● 若手の入会者が少ない</li> <li>● 高齢化</li> <li>● 無償</li> <li>● 一線から退いたこと</li> <li>● 各種団体の活動をよく知らないこと</li> <li>● 活動の場所の確保（福祉センターの予約の複雑さ）</li> <li>● やりたいことがたくさんあること。人に任せられないこと</li> <li>● 茂原市在住の学生とつながる難しさ</li> <li>● 集いの場が少ない</li> <li>● 情報不足</li> <li>● 福祉のトータルでのつながり不足</li> <li>● 自由時間不足</li> <li>● 政治の関心のなさ（市民）</li> <li>● 子どもの生活</li> </ul>



## 2. 意見交換・ワークショップ「センターに必要な機能とは？」（順不同）

### グループ A

必要な備品・設備（ハード面）	必要なサービス・スキル（ソフト面）	誰と誰を結びつけるか（コーディネート）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 印刷機</li> <li>● 掲示板</li> <li>● フリースペース</li> <li>● 子どもスペース</li> <li>● 横幕が作れる印刷機</li> <li>● 市民が多数集まる施設内にセンターを設置</li> <li>● 会議室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民活動支援センターのスタート後も市民の意見を取り入れる仕組み</li> <li>● NPO 化の相談・指導</li> <li>● 相談室</li> <li>● 市役所 Facebook の活用（親しみ深いものにする）</li> <li>● 市民活動支援センターをもっと早くスタートさせる</li> <li>● SNS（Facebook 等）の使い方・活用方法</li> <li>● センターの事務担当者（PC の操作ができる人）</li> <li>● 行政情報の積極的な提供</li> <li>● センター内に行政窓口のワンストップ体制</li> <li>● ファシリテーション技術の指導</li> <li>● 市民活動に参加したい人の相談・助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政担当者を引き出す</li> <li>● リーダー同士</li> <li>● こういうアイディア・意見は、センターがあれば交換できる</li> <li>● これから活動したい人を支援する</li> <li>● 初めて参加したいと考えている人たちを導くベテラン</li> <li>● 関心の薄い人たちを動員する方法</li> <li>● 団体と市民を結びつけるために（センターの機能）</li> <li>● 行政との連携</li> <li>● 専門家（まちづくり・NPO）</li> </ul>



グループ B

「そもそも“どんな人”をどう支援したいのか？」

- ①今は特に関心ないけど、きっかけがあれば動ける人
- ②「何か」やりたいけど、動けない人
- ③「やりたいこと」があるけど、動けない人
- ④「やりたいこと」をやっているけど、課題がある人

<ul style="list-style-type: none"> <li>● たまり場があると良い</li> <li>→①コーディネートする人がいるとよい</li> <li>→②人が来やすい PR や企画があるとよい…ターゲットをさだめて集めていこう</li> <li>● どこに？→茂原市は広い。市に1つでは遠い。小さい場所がたくさん、徒歩圏にあると良い→空き家の活用</li> <li>● “万人”に心地よい場所はない。場所の「多様性」を担保しうるサポートが必要</li> <li>● 実は、人っているいろんな場所で出会えている（カフェ、イベント等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯大学外房学園（60歳以上の高齢者の元気な人）→OBのグループが地域活動をしているケースもある</li> <li>● 趣味をきっかけに、人集めをして、地域活動に発展させていく</li> <li>● 年齢は？…子ども、学生、ママパパ、高齢者</li> <li>● 「まちづくり」に引っかけられない人も巻き込んでいこう！</li> </ul>
--	---

